



さあ、答え合わせをしよう！

第47週目 行ってみよう～福島県(ふくしまけん)からの出題

※ココを見てね!▶行ってみよう～福島県(ふくしまけん)

1. 福島県は、東北地方の南のはしに位置し、3つの地域があります。「浜通り」「中通り」と、あと一つは？

正解:②会津地方(あいづちほう)

これは、ひっかけ問題ですね。武蔵国(むさしのくに)は、いまの東京都(とうきょうと)と埼玉県(さいたまけん)にあたります。磐梯町(ばんだいまち)は、福島県(ふくしまけん)の会津地方(あいづちほう)の中部(ちゅうぶ)にあり、日本百名山の一つ「会津磐梯山(あいづばんだいさん)」があることで知られています。正解は②です。

2. 東北地方で、たった一枚しかみつからない三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)が見つかった遺跡(いせき)の名前は？

正解:①会津大塚山古墳(あいづおおつかやまこふん)

「お宝ベスト5」4つ目を見れば、わかりますね。正解は、①会津大塚山古墳(あいづおおつかやまこふん)です。近畿地方(きんきちほう)で見られるような副葬品(ふくそうひん)がたくさん出土(しゅつど)していて、ヤマト政権(せいけん)の影響(えいきょう)が強かったことがわかります。三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)は東北地方(とうほくちほう)から出土(しゅつど)したのはこの1枚だけという、たいへん貴重(きちょう)なお宝(たから)です。ちなみに、法正尻遺跡(ほうしょうじりいせき)は、縄文時代(じょうもんじだい)の土器(どぎ)が完全(かんぜん)な形でたくさんでてきたことで有名(ゆうめい)。窪田遺跡(くぼたいせき)は、住居跡(じゅうきよあと)と再葬墓(さいそうぼ)が同じ場所からみつかった、とても珍(めづら)しい遺跡(いせき)です。

3. 古墳時代、福島県に遠(とお)い地域の勢力(せいりょく)が一気(いっせ)におしよせました。それは、どこ？

正解:②ヤマト政権(せいけん)

日本列島(れっとう)の人々は、弥生時代(やよいじだい)から、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)のクニグニとの交流(こうりゅう)が盛(さか)んになり、米作りをはじめ、文化(ぶんか)や技術(ぎじゆつ)など、いろんな進歩(しんぽ)がありました。しかし、【古墳時代(こふんじだい)に一気(いっせ)に】という、正解は②ヤマト政権(やまとせいけん)。このことは、福島県(ふくしまけん)の特徴(とくちょう)の最後(さいご)の方に書(か)かれています。福島県(ふくしまけん)が日本列島(れっとう)の北(きた)の方(かた)にあることを考えれば、この時代に台湾(たいわん)と直接(ちやくせつ)交流(こうりゅう)をもつことは、地理的(ちりてき)にもむずかしかったです。

4. 上岡遺跡(かみおか)からは、変わったポーズの土偶(どぐう)が見つかりました。さて、それは次のうちどれかな？

正解:②うでを組んでいる

「お宝ベスト5」2つ目で紹介(しょうかい)しています。正解は、②うでを組んでいる。この土偶(どぐう)には「うづくまる土偶(どぐう)」という名(な)が付けられ、2011年に国の重要文化財(じゅうようぶんかざい)に指定(しじ)されました。ちなみに、ポーズでいえば、「ひじをついている土偶(どぐう)」は、公式(こうし)にはいまだ未発見(みはっけん)。「ひぎを抱(かか)えている土偶(どぐう)」は、いくつも発見(はっけん)されています。

5. 鈴(すず)のついた冠(かんむり)をかぶり、玉(たま)かざりの大刀(たち)を下げ、あぐらをかいた埴輪(はにわ)が出土(しゅつど)したのは、どこ？

正解:①神谷作101号墳(かみやさく101ごうふん)

「お宝ベスト5」5つ目をみてください。胸(むね)の前(まえ)で両手(りやうて)を組み、ちょこんとあぐらをかいている姿(すがた)がなんともかわいらしいですね。1948年の発掘調査(はっくつちようさ)でみつかった埴輪(はにわ)で、男子(おとこ)と女子(おんな)の2種類(しゅるい)あり、国の重要文化財(じゅうようぶんかざい)に指定(しじ)されています。正解は、①神谷作101号墳(かみやさく101ごうふん)。最近(さいきん)の調査(ちようさ)で、前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)だとわかったそうです。